2021-2022 ガバナー月信

GOVERNOR'S Monthly Letter

2
2022 February

「不忘感謝先人偉業」

栗林元二郎

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

国際ロータリー第2510地区　2021-2022年度 ガバナー　大日向 豊吉

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512
E-mail:rid2510@pxva.ne.jp http://rid2510.org

2021-2022年度　国際ロータリーのテーマ

「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

国際ロータリー第2510地区
2021-2022年度地区目標

「世界に奉仕を　地域には感謝を」
「不忘感謝先人偉業」

❶ RI会長テーマの理解と促進
❷ リーダー育成の観点からRLIへの参加を促す
❸ ロータリー情報の提供、広報、クラブ目標の設定などあらゆる手続きにおいて
インターネットの活用を推進する
❹ ロータリー財団、ポリオ根絶への理解を求め会員の積極的な理解を求める
❺ ロータリー米山記念奨学会の活動への理解と協力を求める
❻ 会員増強、Each One,Bring Oneの推進と「ロータリー奉仕デー」の実施
❼ クラブにおける戦略計画の立案（未来ビジョンの策定）と目標の設定を推奨する

CONTENTS

●自分にとって、ロータリーの存在とは …… 1
●ガバナー公式訪問報告 …… 2
●むかわ町表彰式報告書 …… 4
●新会員のご紹介/米山記念奨学会寄付/ロータリー財団寄付 … 5
●米山奨学生の紹介 …… 6
●ハイライトよねやま …… 7
●ロータリーコーディネーターNEWS …… 9
●第1地域RRFC便り …… 10
●INFORMATION …… 14
●地区カレンダー（12月・1月） …… 15
●会員数・例会数 …… 16

自分にとって、ロータリーの存在とは

国際ロータリー第2510地区
2021-2022年度ガバナー　**大日向　豊吉**（函館五稜郭RC）

○１月18日　セントラルRC　　10：30～
×１月22日　第二回ガバナー補佐会議　　中　止
○1月30日　RLI研修会

お正月はのんびり寛ぐことが出来ましたか？

皆様のご協力により、お蔭様にて地区内、69クラブの公式訪問が１月18日、無事終了することが出来ました。

コロナ禍と言う事で調整期間もありましたが、未熟者の私を支えて頂きました、ガバナー補佐の皆様をはじめ各クラブ会長・幹事、補佐幹事および室長並びに各クラブロータリアンの皆様に心から有難く、厚く感謝と御礼申し上げます。

７月の船出の際には、能戸地区代表幹事から「今年一年ロータリーを楽しもう」と声をかけて頂き、朝倉地区幹事を含め三人で第一グループの公式訪問へと旅立ったことを今でも鮮明に覚えております。

正直言って私たち三人はクラブ「呑兵衛の会」（正式呼称は太田会）創設者であります。

ある居酒屋にて二升酒を四人で一時間少々で飲んでしまい、三本目を頼んだ時、女将さんから「彼方たちに売るお酒は有りません！」と断られてしまいました。

今では糖尿病や高血圧症等々様々な弊害が私たちには生じておることも事実であります。

しかし酔うことの楽しみと仲間との会話を忘れられず今日もこれから恒例の寿司屋さんで「呑兵衛の会」の会合が予定をされております。

特に今日は新入会員をお誘いしたとの事ですから、嘸かし楽しい会合になることと思っております。

一昔前、ロータリーには炉辺会合があり、先輩各位からロータリーについて、色々指導を頂く機会の場となっておりました。

私にとりましては先輩諸兄と肉団子鍋を囲み一献傾けた思い出のほうが記憶に多く残っております。

ある年のロータリー節分会の帰りには、先輩から「大日向君黙ってついてこい」と声を掛けられ、湯川にあった仙波旅館の二階へと案内をされました。

部屋に入ると手慣れた仲居さんがコンロに大きな土鍋をかけ、そこへ先輩が一升瓶からドボドボと、勢いよく酒を二本ぐらい注ぎ込み、熱燗程度になったころ板前さんが、こんがりと焼いた魚をその土鍋にそうっと入れ込み蓋をしました。

一・二分過ぎたでしょうか？

蓋を取ってみると燗酒はあめ色となり、丁度飲み頃となっていました。

先輩は茶飲み碗にその酒を酌み入れ「大日向君、飲んでみろ」と。

私にとりましては初めて飲むイワナのコツ酒であります。

いくら飲んでも美味しく、ついつい五・六杯いってしまいました。

尺を超えるイワナを見ることも初めてでありました。

それ以来しばらくの間は尺を超えるイワナを追い求め、渓流釣りを始めましたが、山奥に入らないと尺を超えるイワナには出会うことは無いと言われ、何度か山親爺の出没しそうな山奥まで出かけ、目的を達成することが出来ました。

以来、仲間とイワナのコツ酒を何度か試しましたが、イワナは10～15㎝ぐらいの大きさが一番酒に合うような気が致します。

またある出張先にて、夕食ついでに居酒屋に顔を出し、「お酒は何が良いですか？」と女将さんに訊ねた折、隣の席に座っていたオジサンが、『立山が良いよ』と話してくれました。

言われた通りに『立山』を頼み、ほろ酔い機嫌となったので、会計を済ませ帰ろうとしたとき、隣のオジサンが「君、会計は良いよ、僕が支払うから」。

隣のオジサンは、全く初対面で、名刺交換をしましたらある地区のパストガバナーでありました。

私とロータリーの思い出は、酒の席ばかりのようでありますが、良き友の集まりには、ただ良き酒があったに過ぎません。

豊吉にはお陰様で良き友（ロータリアン）が多くおり、結果として今があります。

函館市議会議員になる前からロータリアンでありました。

お陰で何が善で何が悪か。

行政マンと市民の間で生じたトラブルの多くは「四つのテスト」にて判断をすることができました。

函館市消防を退職して四年目、世間知らずの生意気な三十二歳は、怖いもの知らず・イケイケドンドンの若者でありました。

入会してからは耐えることを知り、先輩諸兄の後姿を見て経営者としての心得について学ぶこともできました。

ロータリーは今でも、私を一歩も二歩も大きく大きく育ててくれております。

私にとってロータリーの存在は人生の学びの場と言っても過言でありません。

ロータリーの目的には『知り合いを広め奉仕の機会とする』とあります。

ロータリアンには寛容な精神が大事でありますから奉仕を狭義的に解釈することなく、ロータリーの創設時、原点に立ち戻り、会員同士の相互扶助を図り、結果、世の為・人の為・多くの人の幸せの為になるサービス活動をコロナ禍であるが故に実行をして頂きたいと思います。

誰かの人生を幸福にすることは自分の人生も豊かにすることです。

皆様のご多幸をご祈念申し上げます。

ガバナー公式訪問報告

紙面の都合上ならびに原稿の到着日により掲載順が前後する場合がございますのでご了承ください。

静内ロータリークラブ　11/10 水

令和３年11月10日(水)大日向豊吉ガバナー、朝倉純一地区幹事をお迎えしての静内RCのガバナー公式訪問を執り行いました。

北海道の新型コロナウイルス感染拡大防止により延期となりましたが、この日に無事開催することができました。

会場は静内エクリプスホテルで11時より会長・幹事懇談会を開催致しました。細川パストガバナー、山田一孝 第８Ｇガバナー補佐、四ツ屋会長エレクト、田村副幹事にも出席して頂きました。

大日向ガバナーより会員増強の在り方や具体的な活動内容について貴重なご助言を頂きました。静内RCからは独自の奉仕活動について詳しくご説明させて頂き、とても和やかな会長・幹事懇談会となりました。

12時30分より例会を開催し、大日向ガバナーより卓話を頂き奉仕活動の本質や会員増強についてわかりやすくお話して頂きました。

大日向ガバナーのお人柄がよくわかる親しみやすくユーモアたっぷりの卓話でした。

この日は丁度、社会奉仕委員会の奉仕活動で当町の桜並木二十間道路の桜成木の植樹と重なっておりました。

例会後、参加者全員で記念撮影後、ご多忙中にも関わらず大日向ガバナー、朝倉地区幹事にも植樹にご参加頂きました。

当町　町長に目録を贈呈し現地で大日向ガバナーと朝倉地区幹事を囲み記念撮影させて頂きました。

大日向ガバナー、朝倉地区幹事におかれましてはご多忙中の中、静内RCにご訪問頂き、また社会奉仕活動である二十間道路桜成木植樹にもご参加頂きました事クラブ会員一同、心より御礼申し上げます。

伊達ロータリークラブ　11/30 火

大日向豊吉ガバナー、小林大輔地区幹事、鈴木ガバナー補佐、望月補佐幹事をお迎えして11月30日ガバナー公式訪問が行われました。

会長・幹事懇談会では、西川会長より、今年度の会長方針や概要、現状を報告し、大日向ガバナーより多くのご意見やご指摘を頂きました。

クラブ協議会では、理事・役員・委員長出席のもと各担当理事から各委員会の活動計画について説明し、大日向ガバナーよりそれぞれの活動に対して懇切丁寧なご講評をいただきました。

例会では、大日向ガバナーよりとても有意義な卓話を伺い、最後に西川会長の謝辞で終了しました。

大日向ガバナーはじめ地区役員の皆様には、ご多忙中にもかかわらず、クラブ訪問を頂き、会員一同心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

函館ロータリークラブ　12/9 木

12月９日(木)大日向ガバナー、能戸地区代表幹事をお迎えしてガバナー公式訪問を開催致しました。

10時30分からの会長・幹事懇談会では、会長、幹事、会長エレクトと、当クラブ会員でもある宮﨑ガバナー補佐を交え、全員旧知の仲ということもあって、和気藹々の雰囲気で懇談を行いました。

11時からのクラブアッセンブリーでは、５大奉仕委員長から当クラブの活動計画と実施状況を報告しました。その後の大日向ガバナーの講評では、クラブの会員増強の方法など、貴重なアドバイスをいただきました。

引き続き12時30分より開催された例会でのガバナー卓話では、「新型コロナ禍のこのような時期こそ、内部卓話を充実させるべきである。そのことで人間性が評価され、信頼に繋がり、仲間を増やすことになる。」「会員同士ビジネスを行うことをむしろ推奨する。相互扶助も奉仕のひとつであり、クラブの魅力にも繋がる。」と、ロータリークラブの魅力向上についてお話頂くとともに、「函館ロータリークラブはこの地区の親の親である。リーダーシップをとって地域を活性化させていただきたい。」と、当クラブの活性化を促し、「現函館駅にミニ新幹線方式で新幹線の直接乗入れが実現すると函館は大いに発展する。」と、具体的な施策を熱く語られるなど、元気をもらえる有り難い話を多数頂きました。

多くの会員とともに、充実したガバナー公式訪問となりましたこと、大日向ガバナーはじめ、能戸地区代表幹事、そして宮﨑ガバナー補佐に対し、深く感謝申し上げます。

むかわ町表彰式報告書

社会奉仕委員会　委員長　石本　要

本年１月６日　むかわ町四季の館におきまして、「むかわ町令和３年度表彰」が行われ、国際ロータリー第2510地区福井敬悟ＰＧに「むかわ町善行表彰」が授与されました。当日他の17個人・団体共々、新年早々晴れがましい表彰式となりました。その後場所を移し、 むかわ町新年交礼会で町民の方々にお披露目となりました。（すでに厚真町・安平町の各町からも同様の表彰をいただいております。）

2018年９月６日　胆振東部地震が発生し厚真・安平・むかわ各町を中心に甚大な被害となりました。その被害に対し当地区が窓口となり、国内はもとより台湾やタイなど各国・各地のロータリアンより約40,000,000円の支援金が寄せられました。発生後、社会奉仕委員会が中心となり、高山委員長を「災害対策委員会」委員長として立ち上げ、以下の災害支援の考え方を確認しました。

① 義捐金ではなく、支援金として→教育・福祉分野を第一に
② 地域とのつながりを重要視（対話と実行）→独りよがりにならない
③ 長期的・継続的な支援体制

３年に及ぶ支援活動は以下の通りです。（むかわ町のみの報告とします）

小山Ｇ年度	鵡川高校仮設学生寮建設・整備の一部として	5,000千円
福田Ｇ年度	仮設住宅へ網戸、談話室へエアコン設置	472千円
福井Ｇ年度	むかわ中央小学校体育館トイレ改修工事（避難所になっている）	5,000千円

今後の支援活動として、ハードからソフトへ、「笑顔を取り戻す」をテーマに、３町の小・中・高の学生に対してスポーツ交流会（サッカー、ラグビーなど）や音楽・楽器指導（札響による）を予定しております。全ての支援事業終了後各クラブに対して報告書を提出予定。

新会員のご紹介

（敬称略）

札幌モーニングRC
芳賀広健
令和4年1月5日入会
弁護士

千歳セントラルRC
林　和則
令和3年12月14日入会
車両販売業

滝川RC
田中元彦
令和4年1月6日入会
金融業

滝川RC
黒元利脇
令和4年1月6日入会
小売業

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

岩見沢RC	大屋　均 会員	(10回)	12月9日
岩見沢RC	嵯峨　義輝 会員	(10回)	12月9日
岩見沢RC	江本　勝典 会員	(20回)	12月9日
岩見沢RC	臼杵　努 会員	(2回)	12月9日
岩見沢RC	田苅子敬夫 会員	(4回)	12月9日
岩見沢RC	武蔵　輝彦 会員	(4回)	12月9日
岩見沢RC	谷　勲 会員	(6回)	12月9日
岩見沢RC	竹内　守 会員	(8回)	12月9日
江別RC	笹浪　哲雄 会員	(4回)	12月27日
札幌東RC	髙山　和宏 会員	(1回)	12月28日
札幌真駒内RC	佐藤　泰彦 会員	(8回)	12月24日
新札幌RC	池田規久雄 会員	(1回)	12月24日
新札幌RC	中川　功 会員	(1回)	12月24日
小樽南RC	鈴木　崇史 会員	(1回)	12月23日
小樽南RC	高木　正光 会員	(1回)	12月23日
小樽南RC	桂　正俊 会員	(1回)	12月23日
小樽南RC	新倉　吉晴 会員	(3回)	12月23日
小樽南RC	松浦　光紀 会員	(7回)	12月23日
室蘭東RC	小林　進 会員	(2回)	12月23日
室蘭東RC	松永　英樹 会員	(2回)	12月23日
函館五稜郭RC	長浜　康治 会員	(1回)	12月13日
函館五稜郭RC	三上　吾朗 会員	(1回)	12月13日
函館五稜郭RC	窪田　良弘 会員	(3回)	12月13日

米山功労クラブ

岩見沢RC	(40回)	12月9日
岩見沢RC	(39回)	12月9日
新札幌RC	(19回)	12月24日
千歳RC	(9回)	12月24日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

札幌東RC	藤田美津夫 会員	(1回)	12月28日
札幌幌南RC	中川　信喜 会員	(2回)	12月8日
岩内RC	岩城　直人 会員	(1回)	12月16日
小樽RC	稲垣　哲也 会員	(1回)	12月23日
小樽RC	秦　健一郎 会員	(3回)	12月23日
小樽南RC	松浦　光紀 会員	(7回)	12月16日
千歳RC	稲川　和伸 会員	(1回)	12月24日
千歳RC	大西　信也 会員	(2回)	12月24日
千歳RC	喜多　康裕 会員	(3回)	12月24日
千歳RC	今野　良紀 会員	(3回)	12月24日
静内RC	福嶋　尚人 会員	(2回)	12月14日
函館亀田RC	小倉　正信 会員	(1回)	12月14日
函館亀田RC	玉井　清治 会員	(2回)	12月14日
函館亀田RC	山口　勝彦 会員	(2回)	12月14日
函館亀田RC	西川　忠弘 会員	(3回)	12月14日
函館亀田RC	鹿野　文男 会員	(3回)	12月14日

ポール・ハリス・フェロー

札幌モーニングRC	酒井　誠一 会員	12月27日
札幌東RC	髙山　和宏 会員	12月28日
新札幌RC	池田規久雄 会員	12月24日
新札幌RC	中川　功 会員	12月24日
岩内RC	西川恵美子 会員	12月16日
小樽RC	半田　善行 会員	12月23日
小樽RC	小松田哲弘 会員	12月23日
千歳RC	阿部　正信 会員	12月24日
千歳RC	甲斐くり子 会員	12月24日
千歳RC	前田　浩志 会員	12月24日
千歳RC	小畑　彰 会員	12月24日
恵庭RC	川口　了久 会員	12月24日
函館亀田RC	青木　啓衣 会員	12月14日
函館亀田RC	今渕　克美 会員	12月14日
函館五稜郭RC	長浜　康治 会員	12月14日

米山奨学生の紹介

伊拉嘎其（中国）
室蘭工業大学・室蘭 RC

私の研究および望み

皆様、初めまして！

中国・内モンゴル自治区出身のYILAGAQI（イラガチ）と申します。

私は2017年１月に留学をしに来日してから５年目になっており、今は室蘭工業大学大学院研究科博士後期課程の２年生です。研究テーマは「高クロム多合金白鋳鉄のエロージョン摩耗特性」です。専門語ばかりなので理解しにくいと思いますので、自分の研究について研究背景などの視点から分かりやすく説明させていただきます。

この研究テーマを話し言葉で簡単に言うと「工業設備における金属材料の摩耗」についてです。摩耗について研究を行っている理由は：Kenneth Holmbergらの報告によると、世界の総エネルギー消費量の23%くらいは、摩擦と摩耗現象による部品と機器の再製造に起因しています。したがって、これらの問題は、材料および潤滑技術を開発するために、依然として多くの科学者の注目を集めています。その中で、高度なトライボロジー技術と優れた耐摩耗性素材を実装することにより、年間GDPの1.4%または総エネルギー消費量の 8.7% を長期的に節約し、CO_2排出量を世界全体で146万トン削減する可能性があるためです。

また、図に示すように摩耗はメカニズムによって、アブレシブ摩耗、凝着摩耗、エロージョン摩耗、ケミカル摩耗、フレッティング摩耗及びその他など分類しています。それらの中、エロージョンは、固気二相流、固液二相流における流体内の粉体が衝突することにより、非衝突材料の表面に凹凸ができ、繰り返し衝突することにより材料表面から材料が損傷、除去する現象です。このエロージョン摩耗は、製鋼用高炉、熱電発電所、ガスまたは蒸気タービン、航空機のタービン ディスク、焼結粉砕機など、さまざまな環境で発生することにより解決すべき課題となっているため、私はエロージョン摩耗に着目しました。

次に「高クロム多合金白鋳鉄」について説明いたします。白鋳鉄とは、鋳鉄の炭素が少なく、ケイ素が少ないと凝固時に炭素がセメンタイトFe３Cという化合物となり、破面が白くみられる鋳鉄です。白鋳鉄はセメンタイトが硬いので耐摩耗材として用いられるが、クロム、バナジウム、タングステン、モリブデン、コバルトなどの金属元素を５mass%程度添加すると耐摩耗性が向上させ、「多合金白鋳鉄」呼ばれます。また、そのクロム含有量をより多く（本研究では18mass%と27mass%）増加すると「高クロム多合金白鋳鉄」になります。

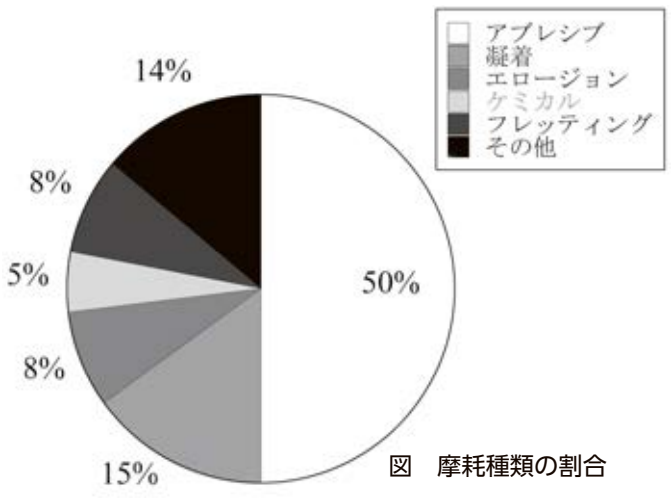


図　摩耗種類の割合

これで、私の研究について少しでも理解はできたでしょうか。来日の目標（ドクターコース卒業）までの22ヶ月間に研究及び人との交流にもっと努力をして卒業し、内モンゴルに戻って知識を広めるだけではなく、人間の育成を支援する大学の教授になりたいです。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース
ハイライトよねやま
Vol.262
2022年1月13日
発行

1. 当会第８代理事長に若林紀男氏が就任

2022年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、去る11月28日に当財団理事長の齋藤直美が急逝し、同日をもって退任いたしました。理事長在任中に賜りました皆様からのご厚情に厚く御礼申し上げます。後任の理事長（代表理事）には、12月17日の理事会におきまして、理事 若林紀男氏（第 2660地区 大阪東ＲＣ）が選任されました。

<PROFILE> 若林 紀男（わかばやし のりお）
1982年大阪東ＲＣ入会。2003-04年度国際ロータリー（ＲＩ）第2660地区ガバナー。2010年ＲＩ規定審議会代表議員、2017-18年度ＲＩ第３ゾーンロータリー・コーディネーターなどを歴任。当財団においては、2002-04評議員、07-10学務・学友委員（09-10同委員長）、12-14評議員（公益法人移行後）、14-16常務理事、16-20副理事長、20-21監事、21-理事（組織活性化担当）を経て、2021年12月第８代理事長に就任。

このたび、故・齋藤直美前理事長の後任として、図らずも理事長職を拝命いたしました。前理事長の思いを受け継ぎ、事業創設70年の歴史と累計２万人以上の米山学友を有するロータリー米山記念奨学事業のさらなる発展を目指し、情熱を持って精一杯努める所存です。

当事業は「支援」と「人財育成」が両輪であると考えます。巣立った学友の活躍を知り、“人財”が多く育っているという実感そのものが、さらなる“支援”への後押しとなります。奨学生時代だけでなく、奨学期間が終わったあとも彼らとのパイプを太くし、学友の活躍を共有し、一人でも多くの方々にこの奨学金制度の意義を実感していただけたらと存じます。どうか皆様の温かいご厚志、奨学生へのご指導・ご支援を、よろしくお願い申し上げます。

2. 寄付金速報 ― 下期普通寄付のお願い ―

12月までの寄付金は前年同期と比べて2.0％減（普通寄付金：1.8％減、特別寄付金：2.1％減）、約1,700万円の減少となりました。しかし、12月単月の特別寄付金については前年よりも500万円増となっており、皆さまからのご寄付に感謝申し上げます。また、「2021年度下期普通寄付金のお願い」を当会から直接各クラブへお送りいたしました（メールアドレス登録のないクラブはガバナー事務所経由）。年初からコロナ禍でのお願いとなり、大変恐縮ではございますが、今後ともご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

Thank you

学友からの高額寄付

張忠信さん（台湾／1961-65／東京日本橋ＲＣ）から100万円の個人寄付
「米山奨学金をいただいたお陰で今まで自分のやりたいことができた」とのこと。今年90歳となる張さんは東京大学大学院博士課程卒、指導教官は建築家の故・丹下健三氏でした。

千葉 鴻儀さん（中国／1990-91／熊本グリーンＲＣ）から200万円の法人寄付
「小生が起業した会社から寄付させていただきます。少額で申し訳ありませんが、多少の恩返しになれば…」とのこと。廃プラスチック・金属リサイクルにより地球資源を守る会社を経営されています。

3. 台湾米山学友会総会　― 新理事長が決定 ―

2021年12月４日、台湾米山学友会の年次大会が台北市内で開催され、同時にYouTubeでもライブ配信されました。毎年、日本をはじめ海外からの参加者が多い同大会ですが、今回も新型コロナの影響を受け、台湾在住学友とロータリアン、そして、同学友会が支援する日本人奨学生らが集まりました。

会の冒頭で、11月に亡くなった当会齋藤直美前理事長への哀悼の意を示し、全員で１分間の黙祷が捧げられました。続いて、山崎淳一副理事長と柚木裕子事務局長、韓国・台湾・関西・タイなどからのビデオメッセージ、2023年に予定されている「再会in関東」の案内が上映されました。

同学友会では、台湾で学ぶ日本人留学生への奨学支援を長年続けており、今年度の奨学生が流暢な中国語で感謝のスピーチをしたほか、元奨学生も大会に参加して、久しぶりの交流を楽しみました。奨学事業へ貢献している一人、蔡衍榮氏（台北仁愛ＲＣ会員）は挨拶のなかで、「ワクチンが不足していた台湾へ手を差し伸べてくれた日本への感謝を込め、来年は３人分の奨学金を寄付する」と、力強く述べました。

今回は役員改選の年にあたり、投票の結果、第９代理事長に林志昇さん（1992-94／津ＲＣ現在：台北南區ＲＣ会員）が選出されました。

4. 次期地区米山奨学委員長セミナー開催報告

2022-23年度地区米山記念奨学委員長の第 1回セミナーを12月10日、感染対策を徹底した都内会場とZoom併用で開催しました。会場参加は18名、オンライン参加15名で、午前10時半から午後４時までの盛りだくさんの研修となりました。

午前の初任者研修では、水野 功副理事長からの挨拶、事務局からの各種説明に続き、事例発表として、第2660地区（大阪府）の坂田妙子次期米山奨学委員長から、地区の学友会と連携した独自のメンター制度等について、実際の映像を交えてご報告いただきました。

午後の合同研修では、常務理事会の付託で設けられた学友会関連検討小委員会委員長の滝澤功治常務理事から、小委員会でまとめた国内／海外米山学友会モデル会則案と学友会規程案の骨子が説明されました。その後、５グループに分かれて「理解促進から寄付増進へ」「選考について」「奨学生育成から学友会」をテーマにディスカッションと各グループからの報告が行われ、質疑応答を経て、山本博史選考・学務委員長の講評で締めくくられました。

昨年１年間（1～12月）に特別寄付をしたすべての方、もしくは普通寄付金の領収証を申請したクラブには、１月末日までに（確定申告に間に合うように）、認定証の写しが付いた申告用領収証をロータリークラブ宛に送付します。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)

Rotary Region 1 & 2 & 3
コーディネーター NEWS
2022年2月号
発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

2022年も年始からCOVID-19との闘いが続く

昨年の２月号コーディネーターニュースに「新型コロナウィルス感染拡大が第３波！緊急事態宣言」と題して書かせていただきましたが、１年経ってまたもや、日本では第６波がオミクロン株によってもたらされ、年末から20歳・30歳台を中心に急激に感染者が増え始め各地で「まん延防止等重点措置」を検討しております。

これから３～４週間後に高齢者にも感染者が広がり医療ひっ迫状況に追い込まれていくのではと危惧されます。メルクの飲み薬が出て、２月にはファイザーの飲み薬が適用されると治療に明るい兆しがありますが、高齢者の方々に３回目のワクチン接種が終わるのには数か月、４月乃至５月までかかるでしょうから油断せず、感染予防対策を万全にいたしましょう。

2022年７月からローターアクトクラブ会員が人頭分担金を納入することになっております。人頭分担金の件、地区の委員会にローターアクターの参加、またロータリー財団への寄付、補助金の使用など、多くの事をロータリアンとローターアクターとが交流できる機会を今まで以上に増やし話し合って上記の内容の方向付けが急がれます。もうしっかり方向付けが済んでいる地区・クラブも多いのでしょうが、国際ロータリーの会員はロータリークラブとローターアクトクラブであるという事に変わったことをロータリアンとローターアクターがしっかり捉えてそれぞれの立場でロータリー活動していく事が大切でしょう。

もう一点の話題として　（以下My ROTARYより）

ロータリーは、すべての人と尊厳と尊重をもって接し、あらゆる人の声に耳が傾けられるようにし、親睦、奉仕、リーダーシップの公平な機会を設けることに力を注いでいます。ロータリーの会員は、ロータリーが多様で、公平で、インクルーシブな組織となることを望み、またそうあるべきであると考えています。ロータリーは、開放的なコミュニケーションを育み、学びあい、支えあうことのできる環境を作りだすことに全力を傾けています。国によってロータリーでの体験は異なるかもしれませんが、不平等や偏見を生み出す力関係、歴史、構造は世界中に存在します。多様性、公平さ、インクルージョンは、世界的に重要な問題です。
国際ロータリー理事会とロータリー財団管理委員会は、多様性、公平さ、インクルージョンの原則を採用し、ロータリーはあらゆる言動においてこれらの原則に従うための行動を起こしています。多様で、公平で、インクルーシブな組織となることで、ロータリーでの会員の体験がより充実したものとなり、より有意義で効果的な奉仕プロジェクトの実施が可能となり、ロータリーに参加したいと望む人たちにとって魅力のある開放的・歓迎的な環境を築くことにつながります。

My ROTARYにあるこのDEI（多様性、公平さ、インクルージョン）を各クラブの中で会員同士がどのような言動が適切かを話し合いそして行動に移していきましょう。

第２地域　ロータリーコーディネーター補佐　松坂　順一（東京葛飾東RC）

オミクロン株が日本中にまん延している中、ロータリー活動にも支障が出ていますが、ロータリアンの皆様には大変な日々が続いておられることとお察しいたします。我が2760地区でも公共イメージ向上に最適手段であるＷＦＦ（ワールドフード＋ふれ愛フェスタ）を４月に予定しておりますが、開催できるか心配しております。

そんな中で、2760地区では一般の皆様にもロータリー活動を知っていただく手段として「国際ロータリー第2760地区の活動」と題して小冊子を発行いたしました。この冊子は地区84クラブの活動や地区委員会の活動を一般の方に紹介するために公共イメージ向上委員会が主となり発行し、各方面にも配りました。この活動はどこの地区でも行っている活動ではあるかと思いますが、公共イメージ向上委員会が中心となり、実施することに意味があり、是非各地区においても行っていただきたいと考えています。冊子の内容についてご質問等ございましたら、2760地区の事務局までお問い合わせいただければと存じます。

第２地域　ロータリー公共イメージコーディネーター補佐　加藤　陽一（瀬戸RC）

第1地域 RRFC便り 1月号

■皆さまからのご支援のおかげで

「世界でよいこと」を可能とする寄付者の皆さまに、心から御礼申し上げます。皆さまのおかげで、ロータリー財団は、持続可能な意義あるプロジェクトを通じ、人びとの生活をより良くするために行動する人たちを支えてきました。

皆さまからのご支援のおかげで、今年私たちは素晴らしいことを達成しました。ポリオや新型コロナといった疾病に対応し、地域社会の安全を守るための支援を行いました。ロータリー会員はまた、環境保護のためのプロジェクトを実施して、新しい重点分野を支援しました。さらに、アフリカで新しい平和センターを開設し、平和と紛争予防の分野でのリーダー育成が強化されました。

皆さまからのご寄付は、単なる資金ではありません。平和、健康、支援を必要とする人たちへの機会がもたらされるのです。

奉仕活動やロータリー財団への皆さまのご支援によって、これらの活動が可能となります。地元や海外の地域社会に末永い変化をもたらすための皆さまのご支援に、心より御礼申し上げます。

心を込めて
ロータリー財団

■グローバル補助金ベトナム教育支援オンラインテスト会議

2021年12月22日14：00－15：00（日本時間）、第3340地区（タイ東北：提唱地区）、第2510地区（北海道西部：支援地区）、実施地域のベトナムの学校関係者と生徒達が「オンライン教育支援」の「グローバル補助金事業」について、Zoom会議を実施しました。新型コロナウィルス感染拡大の影響で、事業が一時中断していましたが、この度教育支援オンラインシステムの設置が開始され、実際にそのシステムを利用し会議が開催されました。

ロータリーのないベトナムでの事業ということで、ロータリーが「平和の推進」を目的としていること、「教育の支援」に力を入れていること等も議題となりました。

今後小学生～高校生までの5,000人の生徒達がこの教育システム開始して行きます。ベトナムの職業訓練生の通訳で会議が行われましたが、今後は英語のオンライン教育等も実施され、通訳なしで英語によりこの会議が行われる日が来ることを、心より楽しみにしております。（以下はその時のZOOM会議の様子です）（羽部記）

■ロータリーの未来に不可欠なのは「成長」

＜シェカール・メータ国際ロータリー会長＞

成長とは、あらゆるものに起こる自然現象であり、生きていることの唯一の証でもあります。アメリカのビジネスマンで、ファイアストンタイヤ・アンド・ラバー社の創業者であるハーベイ・ファイアストーンは、かつてこう言いました。「成長と人材育成こそ、リーダーの最も重要な使命である」これはロータリーにも当てはまります.

過去20年間、会員数は120万人にとどまっており、今こそ会員を増やして成長を遂げるときであると私は考えます。12カ月間で130万人へと成長するのは大胆な目標だと思われるかもしれませんが、「EachOne,BringOne」（みんなが一人を入会させよう）に取り組めば十分に可能なことです。

ロータリーへの入会は「最高の贈り物」

私にとって、ロータリーに入会できたことは人生を変えるほどの最高の贈り物であり、私を推薦してくれたチタランジャン・チョードリーさんにとても感謝しています。ロータリーに入会したことで、無数の機会への扉が開かれました。友人をつくる機会、リーダーシップを発揮する機会、奉仕する機会、寄付する機会。これらは私の人生に大きく影響し、私にとって奉仕が生き方となりました。私は、「奉仕とは、自分がこの地球上に借りている場所に対して支払う地代」という信条を持ち続けています。

この贈り物がいかに貴重なものであるかを実感した私は、ロータリアンとしての36年間、この贈り物をほかの人たちとシェアしたいと願い、複数のクラブに50名以上の入会者を紹介してきました。その多くがロータリーのシニアリーダーとなり、「みんなの人生を豊かにするため」に奉仕しています。

多様性、公平さ、インクルージョン

新会員を募る際には、ロータリーの中核的価値観の一つが「多様性」であることを忘れてはなりません。事実、ロータリーの多様な会員基盤に目を向けると、肌の色、宗教、性的指向など、多種多様な会員がいることがわかります。ロータリアンである私たちは、この多様性を受け入れてきました。入会への関心を高めるには、公平さを確保する必要があります。つまり、すべての人を公平に扱い、平等を尊重し、多様性とインクルージョン（包摂）を重視していく必要があります。このアプローチにより、誰もが所属感を抱き、すべての人が平等であるとみなされ、かつ平等な機会が与えられる環境がつくられます。また、多様性を支えるために必要なインクルーシブ（包摂的）な文化が生まれます。インクルージョンとは、開放的となり、誰もが大切にされ、歓迎され、機会が与えられる環境を築くことを意味します。

ロータリー奉仕デー

私は、世界でロータリーの奉仕プロジェクト数が最も多い地域の出身です。そこには数多くのニーズが存在し、ロータリアンがこれらのニーズに取り組む機会も多くあります。こうした活動を人びとに紹介すると、地域社会のニーズを解決するために行動したいと望む人たちからのロータリー入会への問い合わせが増えます。私のクラブで「LittleHeartSurgery」（小さな心臓の手術）という活動を実施したとき、これに多くの人が感動し、３人から入会の問い合わせがあり、そのうち２人が入会しました。「ロータリー奉仕デー」の実施は、ロータリークラブが地域社会の人びとに活動を見ていただく素晴らしいチャンスとなります。地元や海外での奉仕活動を紹介するイベントでもよいですし、バーチャルな方法を駆使することもできます。奉仕活動に関するセミナーや認識向上キャンペーンもよいでしょう。

表彰／認証

ロータリアンの活動を表彰することは、モチベーションを維持するための効果的な方法です。ロータリー財団への寄付に対しては、既に素晴らしい認証プログラムが存在します。これを踏まえ、会員基盤の成長に尽力したロータリアンを表彰するために、新会員推薦者を対象とするメンバーシップ・ソサエティを導入しました。バーチャルのプラットフォームを採用し、ロータリーに25名以上の新会員を推薦した世界中のロータリアンのお名前を紹介しています。いくつかの認証レベルがあり、詳しくはMyROTARYからご覧いただけます。

会長のフェイスブックとツイッター、ならびにMyROTARYの会長のページもぜひご覧ください。

■適応力であなたのRYLAを創造する

＜寄稿者：カレンC.ローブ米国コロラド州のロータリー会員＞

ロータリーで最近、「多様性、公平さ、インクルージョン」（DEI）という言葉をよく耳にします。DEIと聞いて、RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）を思い浮かべる人はいないかもしれませんが、RYLAでもDEIを強化することができます。第5450地区（米国コロラド州）では、「RYLAプラス」と銘打った、障がいのある青少年を対象とする活動を行っており、障がい者支援団体EastersealsColoradoとの提携の下、障がい者法に準拠した施設でユニークなプログラムを開催しています。参加者のニーズをサポートするため、訓練された医療スタッフとカウンセラーが配置されています。「１週間でうちの子に何をしたの？」と言う保護者もいますが、それは参加者のポジティブな変化を目の当たりにし、誇りをもってそういってるのです。

個人的な動機

私たちがロータリーで行うことの多くは、個人的な動機から始まります。私は、姉が交通事故で両足を切断したことをきっかけに、大学で障がい者と協力するようになりました。水泳を習って自信をつけた学生たちを見て、自分も人を助けることでインパクトをもたらせることを実感しました。だから、私のロータリークラブが新しいプロジェクトを検討していたとき、私はすぐに、身体障がいのある若者を対象としたRYLAプログラムの実施に取り組みました。意外なことに、EastersealsColoradoとロータリーと間には、素晴らしい歴史的つながりがあることも知りました。EastersealsColorado創設者のロータリアン、エドガー・アレンは、ポール・ハリスの親しい友人だったのです。

周到な準備

これを実現するためのステップとして、参加者のニーズに合わせた調整を行う必要がありました。参加者を募集するための学校やクリニックとの関係構築、キャンプへの無料参加を可能にするための複数クラブからの資金調達、ロータリアンと青年のカウンセラーの確保などです。起草から８年、これまでに７回の対面式キャンプを開催し、大きな成功を収めてきました。これは、周到な準備と適応力、そして参加者や保護者からの信頼があったから実現したことです。

多くを学ぶ参加者

参加者は新しい友人を作るだけでなく、歓迎されていることを実感でき、万全の受入態勢の中でキャンプを体験できます。かつてのキャンプ参加者がジュニアカウンセラーとなり、運営を手伝ったり、報告会をリードしたりする姿も見られます。また、自らの障がいを克服してスポーツや組織で成功を収め、社会に貢献している講演者から刺激を受けることができます。参加者は、問題解決、チームワーク、そして物理的なチャレンジ（クライミングウォールやジップライン）の克服について学びます。チャレンジに挑む参加者には皆で拍手を送ります。キャンプ修了者は、パラアイスホッケーの全米代表チームに入ったり、毎週授業でプレゼンテーションを行うクラスに入学したり、大学を卒業したりと、自信と新たな挑戦への意欲を高めています。保護者からも、参加者がより自立し、自分で目標を立てるようになったとの報告を受けています。何よりも嬉しいのは、多くの参加者が翌年もジュニアカウンセラーとして参加し、リーダーシップのスキルをさらに高めると同時に、自分と同じような人が充実した経験を得られるよう手助けをしてくれることです。

スペシャルなRYLAを創造しよう

私の夢は、RYLAプラスが世界中のロータリーで再現されるようになることです。皆さんの地元にEastersealsColoradoのような施設がない場合は、障がい者のためにどのようなリソースが利用できるかを詳しく調べてみてください。RYLAプラスのような活動のほかにも、若者のためにインクルーシブな活動を行う方法はあり

ます。既存のRYLAプログラムをアレンジして、さまざまなニーズのある人や、多様な背景、ジェンダー、性的指向の人などを受け入れる方法を考えましょう。地域社会のニーズや課題を検討し、公平さを高める体験を企画しましょう。計画委員会、参加者、ボランティアについて検討する際は、奉仕するコミュニティの多様性を反映させましょう。何をするにしても、皆さんには人びとの生活を変える力があることをご理解ください。どのような経験をされるにしても、それはロータリーでの最高の経験となるでしょう。
RYLAプラスに関するご質問は、kcloeb@gmail.comまでご連絡ください。

■ポリオ根絶へのコミットメントを世界に示すため、皆さまのクラブにおける「活動支援の記録」にご協力ください

10月24日は「世界ポリオデー」です。皆さまのクラブにおけるポリオ根絶へのコミットメントを世界に示すため、活動その他の支援の記録にご協力ください。
これにより、何十年も前にロータリーが行ったポリオ根絶の誓いに現在も会員が熱意をもち、行動していることを伝え、ポリオ根絶の重要性への認識を高めることができます。
こちらからご入力いただけます：www.endpolio.org/ja/register-your-event*（入力時にエラーが生じる場合は英語のページでお試しください）
本フォームは、過去の年度と比べて簡単かつ短時間で入力できます。本フォームへの入力のほかに、クラブのご活動について詳しく報告することを希望される場合は、ロータリーショーケースにご掲載ください（掲載方法）。ショーケースでは、過去のプロジェクトと実施予定のプロジェクトを掲載できます。
募金活動、ご寄付、イベントのほか、次のような活動もポリオ支援活動となります。

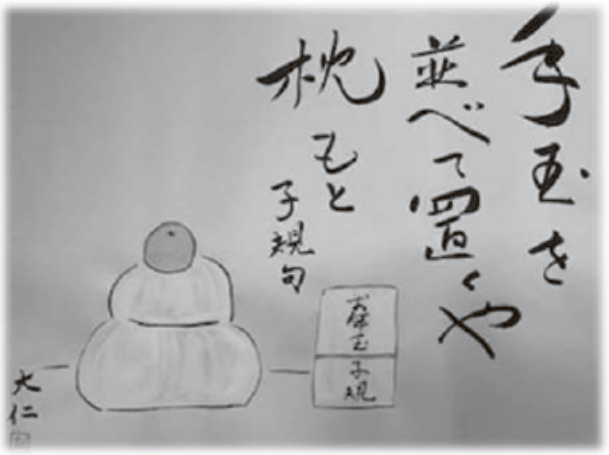
- ポリオ会議：医師や保健専門家を招き、ポリオに関するプレゼンテーションやパネルディスカッションを行う。
- クラブウェブサイトでの掲載：ポリオ関連の記事やポスターをクラブのウェブサイトに掲載して認識の向上を図る。
- クラブ例会での発表：世界ポリオデーがある10月中の例会で、ポリオ関連の卓話や情報提供を行う。
- ENDPOLIONOWのTシャツ：ポリオ根絶活動のTシャツを着てクラブの活動を行い、写真を撮影したらシェアして認識向上につなげる。
- 昼食会・夕食会：イベント中にポリオについての情報提供を行い、参加費用をポリオへの寄付に充てる（または募金箱を設置）。
- ソーシャルメディア・キャンペーン：ローターアクトクラブやインターアクトクラブと協力して、ポリオとの闘いにおけるロータリーの役割をアピールする。
- 地区のポリオ根絶イニシアチブへの参加：地区が主催する各種活動に貢献・参加する。

ポリオ根絶支援サイトの「リソース」ページでは、クラブのご活動で使用できるさまざまなリソースをダウンロードできます。
子どもたちをポリオから守っていくために、ご協力を何卒お願いいたします。

■PHS認証式（入会式）のご案内

日　時：2022年４月23日㈯
　　前夜祭18時（17時集合）
　　４月24日（日）認証式11時（開宴）
場　所：前夜祭札幌ビール園（札幌市東区）認証式プレミアホテルTSUBAKI
会　費：前夜祭と認証式で１万５千円
宿　泊：プレミアホテルTSUBAKI札幌
　　〒062-0904
　　札幌市豊平区豊平４条１丁目１－１
　　TEL（011-821-1111）FAX（011-842-6654）
宿泊代：14,000円（一人朝食付き）

■正月を祝う子規の句と絵



年玉を 並べて置くや 枕もと

正岡子規は、36歳でその生涯を閉じて逝ったのです。今回紹介する句は子規が亡くなる１年８ヶ月前の正月に詠んだとされる句です。
既に身体は病に侵され動くことも儘ならない状況であったと思われます。
しかし、新春を迎えて友や弟子が年賀に訪れることを楽しみにしていた様子が伝わってきます。
子規の残した日記には部屋の様子が描かれています。枕元には小さな木箱がありそこに句集や紙などが入れてあったようです。この頃子規の側で世話をしていたのが寒川鼠骨（さむかわそこつ）でした。
鼠骨は子規と同じ松山の同郷で、碧悟桐や虚子とは子規の下宿で暮らしたことも伝わっています。
お年玉には多くの思い出があります。枕元に並べたお年玉、そのお年玉で子供たちが何を買おうと思いながら布団の中に入る情景が目に浮かびます。子規34歳の正月の背景はどのようなものであったでしょうか。子規が弟子の鼠骨から贈られた「地球儀」の話が伝わっています。
「人は物を贈りたるこそ、贈りたる者は気安くして贈られたる者は興深けれ。今年の年玉とて鼠骨のもたらせしは何々ぞ。三寸の地球儀、大黒のはがきさし、夷子の絵はがき、千人童子の図、八幡太郎一代記の絵草紙など、いとめずらし。」
弟子の寒川鼠骨（さむかわそこつ）から直径３寸の地球儀を贈ってもらったことを記して「これ我が病室の蓬莱なり」と喜んでいます。
それは地球儀を見ながら世界一周の旅を楽しんでいたに違いありません。昔従軍の記者として中国に渡ったことも噫懐かしい思い出になったことでしょう。漱石がイギリスに留学したことを想いながら地球儀を回しながらここがイギリスか、随分遠いいところだと思ったのでしょうか。
さて今月の『年玉を 並べて置くや 枕もと』ですが、自分は身動きが出来ないが、尋ねてくれる弟子のために準備をして、その日を待ち望んでいたことが伺えます。令和４年お正月に孫へのお年玉は幾らにしましょうか。
（羽部記）

INFORMATION

【札幌北ロータリークラブ】

2022年１月より、札幌北ロータリークラブ事務所を下記の通り移転しましたのでお知らせいたします。

【業 務 時 間】 11：00～17：00
【定　休　日】 火曜日
【住　　所】 〒065-0012　札幌市東区北12条東13丁目２-31
【電 話 番 号】 011-299-7725
【F　A　X】 011-788-7792
【メールアドレス】 info@sapporo-north.jp
【事務局担当】松田　沙希子・坂口　友香

地区カレンダー　2月・3月

2月　平和と紛争予防／紛争解決月間

1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	第9グループIM（伊達）：中止
7	月	～14日　国際協議会（オンライン）
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	建国記念の日
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	地区チーム研修セミナー（札幌）
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	天皇誕生日
24	木	
25	金	
26	土	第8グループIM（静内）
27	日	
28	月	

3月　水と衛生月間

1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	長沼RC創立30周年記念式典
13	日	江別RC創立60周年記念式典：延期
14	月	
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	第6グループIM（小樽）⇒4月17日に延期
20	日	
21	月	春分の日
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	会長エレクト研修セミナー（札幌）
27	日	地区財団セミナー・米山セミナー（札幌） 米山記念奨学生歓送会（札幌）
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

2022年2月のロータリーレートは地区HPをご覧下さい。

会員数・例会回数報告

グループ	クラブ名	例会数	会員数 '2021.7.1	'2021.12.31	増減	内女性
1	深川	3	32	33	1	2
	羽幌	3	36	34	-2	1
	留萌	3	25	25	0	4
	小計		93	92	-1	7
2	赤平	2	20	20	0	2
	芦別	3	28	28	0	2
	砂川	3	39	39	0	1
	滝川	4	84	84	0	5
	小計		171	171	0	10
3	美唄	4	22	21	-1	0
	江別	4	36	37	1	1
	江別西	3	35	35	0	3
	岩見沢	3	91	92	1	1
	岩見沢東	2	17	15	-2	2
	栗沢	3	18	18	0	1
	栗山	4	25	25	0	4
	当別	3	26	24	-2	0
	小計		270	267	-3	12
4	札幌	4	121	134	13	2
	札幌はまなす	3	17	17	0	2
	札幌北	3	38	38	0	4
	札幌ﾓｰﾆﾝｸﾞ	3	36	36	0	0
	札幌西	3	50	48	-2	9
	札幌西北	3	30	32	2	3
	札幌手稲	3	34	35	1	3
	小計		326	340	14	23
5	札幌東	4	113	114	1	0
	札幌清田	3	11	11	0	3
	札幌幌南	4	59	59	0	3
	札幌真駒内	4	20	20	0	5
	札幌南	4	76	77	1	2
	札幌大通公園	2	12	12	0	3
	札幌ライラック	2	14	13	-1	4
	新札幌	3	24	25	1	5
	小計		329	331	2	25
6	岩内	4	26	27	1	1
	倶知安	2	33	34	1	3
	小樽	4	72	73	1	3
	小樽南	4	60	59	-1	3
	小樽銭函	2	15	15	0	1
	蘭越	3	8	8	0	0
	余市	4	37	37	0	3
	小計		251	253	2	14

12月会員増減数

クラブ数	69クラブ
期首会員数	2,418人
当月末会員数（女性）	2,445人(169人)
増加会員数	27人

グループ	クラブ名	例会数	会員数 '2021.7.1	'2021.12.31	増減	内女性
7	千歳	3	74	75	1	10
	千歳セントラル	3	42	43	1	10
	恵庭	4	45	46	1	3
	北広島	3	15	15	0	0
	長沼	2	16	16	0	3
	由仁	2	8	8	0	1
	小計		200	203	3	27
8	えりも	2	17	17	0	1
	三石	3	11	11	0	0
	様似	2	14	14	0	1
	静内	4	64	64	0	4
	浦河	2	20	21	1	2
	小計		126	127	1	8
9	伊達	3	61	61	0	2
	室蘭	4	30	30	0	2
	室蘭東	4	31	31	0	2
	室蘭北	3	52	52	0	2
	登別	4	26	26	0	1
	洞爺湖	2	11	11	0	1
	小計		211	211	0	10
10	函館	4	57	66	9	2
	函館亀田	4	33	33	0	4
	森	2	33	33	0	0
	七飯	3	15	15	0	0
	長万部	2	10	10	0	0
	函館セントラル	3	23	24	1	2
	小計		171	181	10	8
11	江差	2	9	10	1	1
	函館五稜郭	4	47	48	1	0
	函館東	3	36	36	0	8
	函館北	4	17	13	-4	1
	北斗	4	12	12	0	0
	小計		121	119	-2	10
12	白老	2	30	28	-2	3
	苫小牧	3	59	62	3	2
	苫小牧東	4	32	32	0	7
	苫小牧北	2	28	28	0	3
	小計		149	150	1	15
合計			2,418	2,445	27	169

※岩見沢ＲＣには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数14名（内女性会員0名）を含む

表紙の解説

昨年90周年を迎えた「八紘学園」の日本一大きなサイロ。創立者　栗林元二郎は、秋田出身。大正8年にまず芽室町に入植して200haの開墾に成功させた。北海道庁の信頼を得て開拓PR映画制作に携わった後、開拓の夢を多くの若者に実現してもらう為、独学で教員資格を取り、札幌の植民学校農学科講師に転身する。さらに裸一貫にも関わらず自分の信念を説く事によって、時の実力者　斉藤実(総理大臣・内大臣等を歴任。)の信頼を得て、当時の北大学長・拓銀頭取・道庁長官ら多くの支援を受け、1931年(昭和6年)に豊平町月寒に82haの土地を得て「八紘学園」を設立する。今も学校法人　八紘学園　北海道農業専門学校として農業分野に人材を輩出している。八紘学園は、ジンギスカン鍋発祥の地としても知られる。元二郎は満州から現地の鍋を持ち帰り、羊肉を焼いてタレに浸けてたべる月寒(札幌)式ジンギスカンを広げた。昭和19年、月寒25連隊が樺太に移動の際、元二郎は壮行会を開き羊の肉を振舞い、モンゴル帝国ジンギスカンの「雪原の戦い」の訓話をした。以来「ジンギスカン鍋」の名が広がって行ったと言われる。元二郎は、市長や政財界のメンバーを集め会員制の「成吉思汁倶楽部」を設立してジンギスカンの普及に努めた。現在、学園の敷地内にある「ツキサップじんぎすかんクラブ」にその名が残っている。

Rotary District2510